

札幌社保協 FAXニュース

2009年12月11日(金)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

次回の国保・介護・
後期高齢者110番は
12月24日(木)です。

路上生活者などに民間宿泊施設を借り上げて対応 札幌市が緊急一時宿泊事業開始

SOSネットワーク北海道と札幌市との話し合いで詳細を表明



SOSネットでは、10/23に行政として路上生活者などへの住居の対応を要請していましたが、この間の折衝も踏まえて12/9に話し合いを行いました。

10月には市としての対応は具体的に考えられていませんでしたが、その後の国の動きもあり、市として12月から民間ホテルを借り上げ、ホームレス状態の人を受け入れることにしたものです。全国的にもまだ少ない事業です。

- ◆生活保護を申請した、ホームレス・その恐れのある人・定まった住居を喪失した人を対象。
- ◆救護施設が満室か、事情で入所できない場合に委託契約のホテルを紹介。
- ◆1泊が原則(2食提供-生活保護決定時に料金差し引き)、連休などは連泊可能だが、それ以外は毎日宿泊を申請する。
- ◆申請は各区役所の保健福祉部。年末年始休みや土日でも申請の対応はする。

その他、生活保護決定までの当座生活費のつなぎ資金も増額を要請し協議中であること、年末年始の相談体制も検討中であると表明されました。(右→)

年末年始対策

- 12/16(水)にハローワークと福祉事務所などのワンストップサービスを検討中。
- 12/29・30にもワンストップサービスを計画中。

年金・後期高齢者 年金者組合が市と話し合い 国保・介護・生活など



年金者組合札幌支部協議会は12/10、市へ要望していた福祉・生活などへの回答に基づき、各支部の代表18人が参加して担当部署と話し合いを行いました。

最低保障年金は各党の政策にもなっており、全国市長会でも要請していると回答。後期高齢者医療は国の動きを見ながらという回答でしたが、広域連合議員でもある市長がもっと積極的に発言をしてほしいと要求しました。

国保料のこれ以上の引き下げは困難、国保の赤字が減ったのは後期高齢者が抜けたからと回答がありました。ゴミ問題では有料化や新分別開始後多くの意見が寄せられていること、ゴミカレンダーやゴミ出しガイドは改善することが回答されました。

精神障害者にも「運賃割引制度」を!

精神障害者への交通費助成を求める実行委員会が議会へ提出していた「精神障害者にも『運賃割引制度』の適用を求める陳情」が、12/8の市議会厚生委員会で審議され、70人の傍聴者が駆けつけました。

身体・知的障がい者には多くの公共交通機関で半額の割引制度が実施されていますが、精神障害者には一部を除いて行われていないのが現状です。

趣旨説明に立った実行委員会代表の細川潮さんは、自分が地方にいた時に札幌へ通院するのに多くの交通費がかかって大変だったことを紹介。石山貴博さんは、多額な交通費で日中活動サービスの利用や通院が制限されないように割引の実施を訴えました。

出席議員からも事業者への働きかけ強化などが出されましたが、陳情は継続審査となりました。

